医師による

栄養解析

のごあんない

健康診断では「異常なし」、でも・・・

疲れやすい、肩がこる、血圧が高い、最近太った、元気が出ない
など 気になることはありませんか？
それは、病気になる前のサインかもしれません。

原因は、栄養バランスの乱れかもしれません。

同じ検査項目でも、
分子整合栄養医学（オーソモレキュラー）に基づいて見ると、
あなたの不調の原因が見えてきます。

検査項目	通常の診断対象	分子整合栄養医学（オーソモレキュラー）的解釈の一例（脱水、炎症などのデータが変化する要因を除く）						
		全身状態、タン白代謝	脂質代謝	糖代謝	ビタミン不足	ミネラル不足	酸化ストレス	筋量低下
総蛋白	栄養状態、肝臓・腎臓	●					●	
アルブミン	栄養状態、肝機能	●						
間接ビリルビン	肝臓疾患	●					●	
AST（GOT）	肝機能	●			● ※1		●	
ALT（GPT）	肝機能	●			● ※1		●	
ALP	肝機能					● ※3		
LDH	貧血、炎症、骨疾患	●			● ※2			
γ-GTP	肝臓、胆道系疾患	●					●	
コリンエステラーゼ	肝臓疾患	●	●					
総コレステロール	高コレステロール血症	●	●	●				
LDLコレステロール	冠動脈疾患のリスク	●	●	●				
HDLコレステロール	動脈硬化のリスク	●	●					
中性脂肪	肥満の状態	●	●	●			●	
尿素窒素	腎臓機能	●						
クレアチニン	腎臓機能	●						●
ヘモグロビン	貧血	●			● ※1	● ※4		
ヘマトクリット	貧血	●				● ※4		
血清鉄	貧血	●				● ※4	●	
フェリチン	悪性腫瘍	●				● ※4		

※1：特にビタミンB6　※2:特にナイアシン　※3：特に亜鉛　※4：特に鉄

詳しい解析レポートをお作りし、ご説明いたします。

お食事の指導や医科向けサプリメントの選択を行います。

ご希望に応じて、3～6か月後に効果判定を行います。

当院の医師・スタッフにお気軽にお問い合わせください。